

様々な分野で活躍している輝く女性たち③

電車の運転は 子供のころからの夢



撮影：松本健彦

西武鉄道株式会社（鉄道）



電車運転士

山澤優子さん

1984年、東京都東大和市出身。2007年東京経済大学を卒業後、西武鉄道へ入社。新宿線西武新宿駅にて駅員として勤務した後、車掌として勤務。その後、2010年8月、運転士見習登用試験に合格し、運転士見習となり、9か月間の講習を経て、2011年6月国家試験に合格して運転士となる。現在、池袋線で運転業務を担当している。

鉄道の世界に憧れていた少女は 夢を叶えるため男社会に飛び込んだ

幼稚園のころから電車の運転士になるのが夢だったと話す山澤優子さん。入社8年目の彼女は現在、池袋線の運転士である。

「おはようございます。今日はよろしくお願いします」と、夜勤明けにもかかわらず、アイドルのような笑顔で元気に挨拶してくれた山澤優子さん。一見まだ学生のように見えた彼女も運転士歴3年を経過した、立派な西武鉄道の顔である。

さっそく彼女が西武鉄道の運転士に

なった経緯を聞いてみた。

西武沿線で生まれ育った山澤さんは、毎日西武線の黄色い電車を見て育った。そのせいか、なじみのあった西武鉄道の運転士になることは物心ついたときから決めていたという。まさに「鉄子」と呼ぶにふさわしい女性である。

彼女が鉄道員を夢見た子供のころは、西武鉄道もまだ男性中心の職場という印象が強く、女性の駅員はいない時代だった。それでも鉄道一筋の彼女を応援してくれたのが両親だった。

その願いが叶い、2007年に西武

鉄道へ入社、西武新宿駅に配属された。入社後は駅員を経て、ステーションアンプとして、まずは車掌になるために車掌見習の登用試験を受けた。山澤さ

さらに車掌を経て、運転士になったための運転士見習の登用試験を受けた。

文系大学出身の山澤さん、「人生で一番勉強しました」と、数学を中心とした苦手な理数系の勉強に根をあげることなく、必死に勉強して難しい試験をクリア。2010年8月運転士見習となった。

それから国家資格を取得するための

両親の応援に応えるように ステップアップを重ね、みごと電車運転士に

猛勉強が始まった。

その甲斐あって2011年6月、山澤さんは、みごと国家試験に合格して晴れて運転士となった。そんな彼女の合格を自分以上に喜んでくれたのが、小さいときから応援し続けてくれたいた両親だった。

養成所で教官のもと、机上教育を4か月学び、学科に合格すると指導